

自然体験活動幼児プログラム
46. 森のともだちさがし

1. ねらい
自然物が見方によって様々な見え方がすることに気づく体験をする。
2. 時期・時間・場所
 - ・年間を通じて活動可能。
 - ・2時間程度
 - ・木や石があるところ（活動範囲はあらかじめ指導者が決定する。）
3. 準備

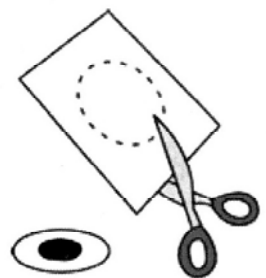
自然の家で貸し出しできる物	利用者で準備する物
活動場所の紹介	事前に作成した「目玉」シール（1人2枚）

4. 活動内容
活動の流れ（例）

内 容	時間
<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドに移動します。 ・「目玉」を2個ずつ配る。 ・活動の説明する。 ・森のともだちさがしに出発する。 ・発見したら、目玉シールを貼り付け、名前をつける。 ・発見した森のともだちをみんなに紹介する ・紹介が終わったら、森のともだちにさよならをして「目玉」をはがして集まる。 ・ふりかえり 	（20～30分） 10分 20分 20分 10分 30分

（1）事前準備

- ①白い紙を直径6センチ程度の円に切り抜き、円の中心に目玉を描く。
さらに、目玉の裏側に両面テープを貼り付ける。
- ②活動可能な場所をあらかじめ決定しておく。



（2）活動の説明

- ①この場所にはどんな生き物がいるか想像してもらい、何人かに具体的に聞いてみる。
- ②言ってもらって生き物以外に、みんなにしか見えないともだちがいることを伝える。
- ③自然の中にも、「目玉」を張ることで自分だけの森のともだちが発見できることを伝える。
- ④さあ、みんなも探してみよう！と伝えて、時間・範囲を決めてスタートします。

（3）森のともだちさがし

- ①配られた「目玉」を自然物に貼り付け、顔に見立てたら名前をつけて集合する。
- ②指導者は子どもたちの活動を見守る。うまく見つからない子どもには、見方を変えたり、角度を変えたりするなどのアドバイスをする。

（4）森のともだちの紹介

- ①全員でそれぞれが見つけた森のともだちに会いにいきます。
- ②自分の森のともだちをみんなに紹介します。

(5) 事後の活動

- ①紹介が済んだら、必ず「目玉」を集める。
それぞれの森のともだちは恥ずかしがり屋さんなので、お別れを言って「目玉」シールをはながしてきましょう、と説明する。
- ②ふりかえりを行う。
感じたことや、気づいたことを発表し合い、お互いの気持ちや感動を交換する。
- ③森のともだちとツーショットで写真を撮ると、以後の活動に活用できる。

5. 留 意 点

- (1) フィールド内の有害植物や有害動物の有無を事前に確認しておくとともに、活動場所の安全性を確保しておく。
- (2) 活動場所は、子どもの体力に応じてエリアを決めておく。